

劇団青い鳥 ショートショートシアター

東京・大阪・茨城・鹿児島
各地で絶賛を博した劇団青い鳥の珠玉の名作
岩手県岩泉町で初公演!



普通の 人々

龍泉洞ブループロジェクト連携企画

復興応援!
岩泉公演

平成29年度
芸術文化振興基金助成事業

演出
芹川藍
SERIKAWA AI

作
天衣織女
AMAGI ORIME

天衣織女
AMAGI ORIME

天光真弓
TENKOU MAYUMI

葛西佐紀
KASAI SAKI

喫茶店で対峙するアンバランスな男と女
長い歳月をともにした夫婦が隠し続けた心の裏と部屋の壁
夜の帳が覆う河べりの道。ひとりぼっちで歩く少年が出会った暖かな奇跡

三人の役者が11人の役を演じ分け、まるで本のページをめくるように五つの物語を紡いでいく。

2018年3月21日(水・祝) 14時開演 (13時30分開場)

会場：てどの蔵 (岩手県岩泉町岩泉字村木 74 TEL: 0194-22-3233)
入場料：一般 2000円 岩泉町・近隣の方 500円 全席自由席

主催:株青い鳥創業 共催:おじゃんこの会 後援:岩泉町教育委員会 協賛:岩泉うれいら商店会 (一社)岩泉デザイン会議
予約・問合せ・チケット販売:横屋てしごとや 0194-22-3233

青い鳥創業 03-5738-7181 <http://aoitori.org> E-mail: aoitori@aoitori.org



『普通の人々』



ドラマには起承転結がある。
 テーマがある。
 私たちはそれが当たり前だと思う。
 しかし現実では私たちは、
 『起』だけだったり、
 『承』だけだったり、
 時には
 『結』だけを目撃することになる。
 電車の中や駅前の喫茶店や
 河べりの道で。
 なぜあの二人は
 泣いているのだろう。
 なぜあの人は
 同じ言葉を繰り返し言ったのだろう。
 なぜこの人は
 動かずに微笑んでいるのだろう。
 意味やいきさつは計り知れないけれど、
 なぜか心をゆすぶられる瞬間を
 私は何度も目撃した。
 その瞬間が物事の
 本質を突いていると思うことさえあった。
 そしていつしか、
 その光り輝く瞬間を
 ひとつにまとめるのではなく、
 バッサリ切り取った断面で
 表現したいと思いはじめていった。
 その結果、
 短編を集めたショートショートシアター
 という形をとらせてもらおうと思った。

天衣織女



劇団青い鳥

1974年に女性ばかり6人で設立。今年で44年目を迎える。現在、東京・大阪を中心に公演を行う。この間「今感じる自分たちの思い」をテーマに、オリジナル作品を創り続け、作品数は60作品を越える。作品は中学生、高校生にも人気が高く、全国の中学・高校演劇で多数上演されている。創作方法は「青い鳥方式」とも呼ばれ、演劇を志向する多くの若い人たちに影響を与える。客層は幅広く、小学生から高齢の方まで、多くの世代に共感を呼ぶ。年間20000人以上を動員した。1986年紀伊國屋演劇賞受賞 1986年芹川藍初日通信大賞 主演女優賞 1992年東京ジャーナル演劇部門賞受賞。

～劇団青い鳥へのメッセージ～

誰にだってドラマはある。だが足早の日常はそれを置き去りにする。青い鳥の『普通の人々』は日常に沈殿する置き去りにされたドラマを拾い、愛と想像力で舞台に昇化させている。主役は平凡な私であり、あなたなのだ。
 水谷 八也 (早稲田大学文化構想学部 教授)

青い鳥の時間は少女の時間だ。40年経って、青い鳥は少女のまま老女になった。「青い鳥」はその名のとおりに「ここにはないもの」の代名詞だが、同時に「ここにあってしんとゆるかぬもの」の代名詞でもある。
 上野 千鶴子 (社会学者)

十代の頃に初めて観た青い鳥の公演の感動は今も胸の底で疼いている。一人一人がしなやかにカッコよく、繋がりをを感じるけれど群れている感じはしない、そんな劇団は初めてでした。
 大森 寿美男 (脚本家・映画監督)

「青い鳥」のお芝居は、いつも、どこか懐かしく、夢のようでありながら、決して非日常ではない。僕らがこちら側で、呟いたり、愚痴ったり、かけ回ったりしながら、その日常のかけがえのなさ、楽しさのほうへ、僕たちを手まねきしているーそんな印象だ。
 是枝 裕和 (映画監督)

劇団青い鳥を見始めた頃、観劇仲間の一人はシングルマザーで、仕事と育児に追われていた。彼女は、青い鳥の舞台を見た後、ほろほろと泣いた。そしてこう言った。「思い出したわ、『夢』という字の書き方を」。
 畑 律江 (毎日新聞大阪本社学芸部 専門編集委員)

3月18日(日) 気仙沼公演 はまなすホール 14時開演/3月21日(水・祝) 岩泉公演 てどの蔵 14時開演 お問い合わせ:青い鳥創業 TEL:03-5738-7181

作:天衣織女 演出:芹川藍 出演:天光真弓 葛西佑紀 天衣織女 舞台美術・音響プラン:芹川藍 照明:久保田つばさ 音響操作:吉田望 衣裳:葛西佑紀 小道具:天光真弓 演出助手:渡辺なほみ 予告映像:高彩裕子 制作:長井八美 渡辺なほみ 青い鳥創業 監修:市堂令 特別協力:前川健彦 NPO法人MORIMORIネットワーク 企画:劇団青い鳥 主催:株式会社青い鳥創業 共催:おじゃんこの会 後援:岩泉町教育委員会 協賛:岩泉ういちら商店会 (一社)岩泉デザイン会議

